

市 蔵王リースらが寄付金贈呈

白石きぼう学園の環境整備支援

白石市は20日、同市防災センターで「白石みらい教育基金」に計105万円を寄付した3社に対して寄付受納式を行った。寄付金は2024年4月に開校する不登校特例校「白石きぼう学園」の環境整備資金に充てられ



感謝状が贈られた3社

る。同学園は子どもたちが自分に合った学びを選択できるようにするため、個々の学習状況に合わせた学び直しの時間や興味関心に基づき探求活動などを取り入れ、地域や企業との交流を行うことで、社会的自立に結び付けていることを目指している。

寄付者は蔵王リース（名取市平間宏樹代表取締役）、白石倉庫（白石市 太宰榮一代表取締役社長）、オフィスコープレーション（広島市 栗栖章代表取締役）の3社。寄付贈呈を行った

後、寄付受納書および感謝状が山田裕一市長から贈られた。

感謝状贈呈後、山田裕一市長は「不登校の子どもたちや、その家庭に対して多くの企業や社会が協力していることを発信していきたい。今回の寄付はとても温かい支援である」と深く感謝している」と感謝を述べた。

今回の寄付を通じて、太宰社長は「市が教育に力を注いでいることを全国発信してもらえよう」と機会になつてほしい」と展望を述べた。続いて平間代表は「市が力を入れてくれる子育て支援に役立てられたら嬉しい」と述べ、浜梶直人仙台営業所長は「この市で生まれ育つてよかったと思われ、地域活性化につながるように貢献していきたい」と話した。